

大地震への備えは万全ですか!

市民ら連携し、津市総合防災訓練を実施

津消防タイムズ

第 21 号



被災者を救護し応急救護所へ搬送する地域の自主防災協議会の人々



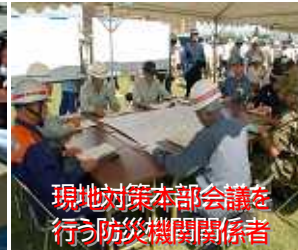
延焼家屋に放水する
自主防災協議会関係者



動物救護所で犬を
診察する獣医師



負傷者に応急手当を
施す看護師



現地対策本部会議を
行う防災機関関係者

発行 津市消防本部
〒514-1101
津市久居明神町 2276
編集 消防総務課
企画広報担当
TEL 059-254-0353
FAX 059-256-7755
協力 津市防火協会

火災などの
お問い合わせ
224-1881
救急医療情報案内
256-1199

澄みきつた青空の中、いつ発生するか危惧されている東海・東南海・南海地震による災害に備えた「津市総合防災訓練」が、防災の日の九月一日に久居新町の陸上自衛隊久居駐屯地グラウンドで行われました。

訓練には、津市・消防本部のほか、県、久居消防団、婦人会、連絡協議会久居支部、自衛隊、警察、自主防災協議会、地元地域住民、久居一志地区医師会、県獣医師会津支部、ライフライン関係機関、社会福祉・ボランティア連絡協議会、郵便局、三重県隊友会、アマチュア無線三重中勢、津造園建設業組合、モーターパラグライダークラブ、イオン(株)中部カンパニーなど関係機関三十団体、約八百人が参加して訓練に取り組みました。

想定では、同日の午前九時頃、東海・東南海・南海地震がほぼ同時に発生し、津市では震度六強を記録、市内各所の火災の発生、道路の損壊、ライフラインの寸断などの被害、また多数の人的被害も出ており、特に久居

地域では被害が甚大であるというところで訓練が開始されました。本訓練では、津市自主防災協議会による避難誘導や負傷者搬送を皮切りに、水道、ガス、電気、通信などのライフライン復旧、地域住民によるバケツリレーや模擬消火栓からの初期消火、消防・警察・自衛隊による倒壊家屋からの救出救助、社会福祉協議会やボランティア連絡協議会の連携の検証、日本赤十字社他の医療機関による負傷者のトリアージ(重症度の選別)や応急救護、イオン(株)中部カンパニーによるバルーンシェルター(避難施設)の開設、県獣医師会による動物救護所の設置、アマチュア無線とモーターパラグライダークラブによる被害状況収集など、さまざまな訓練が実施されました。

なお、今回の訓練は、広い敷地の陸上自衛隊久居駐屯地で実施したことや市民の防災意識を高める啓発など、被災時の多様なニーズに心える新たな試みがありました。

今からでも遅くはありません。震災への備えを万全にして下さい。

